国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

第廿九

共五十四巻

渡利邑

松浦氏

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』　請求記号

ガラス使用

女二ノ云ノ中ニ玉フ事ハナキト也

うらとあめふおもとめらしやうやう思ひさらんまことはほきてもみやの流氣ひありさ海を見給みつうなどきこえ給ことハあらまおしいりならんほいでは思ふ事をもまかしまゐらせて人の此ほけひをみんと於ほしまゐらに定す所とのあるいつうまづらひ給ひてをのといふまゐ

小野

つふ山ざせ行へ給はつゝるゝめ給ひやうよりほいれりの師まく掴のけかとひ捨ける律師の山ごもりして所せまじとちうひゝるを海りとちうくて所うしなうしあふゆへなりけり流車よりとじめて供おなど大ね殿より楚をれ行へな

井テハ伊勢物語ニワザトニ公ヨテ可然ヲ言ヒテモ然トハ訪ズト云

をなかくまことれひりしのをもゆりの君ならを

柏ノ見方

あせまさしを見をのうしこれ世のいとなるに下

自恣

されほくこしもいく世し給りず毋の君ならこ也

ヒ井テハ將

柏方紅梅大臣女二ツケサウスル

ひな気ましとめらでけきさけるまことれなり

女二ツ

ケンガクニメサル間イテマシテ

トフラウズ

なる所りてなしなりけるに志ゐてもまゐくとふらひ給ひなりまゐこれ君をいとうしこうさ

ミ

夕

つまをなくゆるしなれ給ひまためつまをなくなとをさ娘

浄ふとさくて僧の子を上ほなどやうのこ海りな

浄衣

ほとのをほ色さて下つまのふなやうゐ人ゐ元女

ミアメヨリハ心色幸ナリ

カ子ヲ

ほ給ひなかへくのをしうゐ志きのしとおほしぬ

宣旨

色くことくしゐ所さ海なりせ人てきゐ申ま君宮

大ねナレバ

女二

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

てどく絶たてさつり給けまどりぞうえなれたて
まろらんとしたひかたらを給へ給を人にうけ（モノヽケ）つきち
給をおちてまこしの色ぐくぞかりにあれ多に人
まこしをり行りす（大ゐ）まろうとのゐのゐべき法の多
はれはみやの所かたのまのまへに入なりて上らう
さつ人に所せうそこ望しつ（侍）さふいゆゑ（ミヤスホノ消息）しあな
望うまでの給ひせまこらを給へるをなん申し
ひなくなりまて給ひなぞあれしこまるをこ
きこえさをでやと思ゐふ故なき事ひ（今下）しあ
とぐあまりし紀ひ所に給ぬるときこしいぐし（ミヤスヨリ）給
へるまかたらをのひし所をくつまりと思ふのしを

を云深院にうけ給はるさしこゝろ給し程にて
なん日ころもうこはりやなくまれ給ひこと給く
思給ふ事ひの程よりをあられくをろりに所給をも
らおくあやのくるしう給ふなどきこえ給ふ（女二）
おくのうへにいやや思て給しさをとおとくしあ
らぬさひ（小仲山庄）の所をつらひあさこえやうなるれまし（所庄）の
かぐまく人（女二）の所あるひをのつしいややを
らうにうちみ（方）ろまなとし給ひ所ろ所をとるひさ（女二ト思ヘリ）
ぞうまなくつまとまくぬのゐりしも宅にあなたてあ（内息下ノ方）
なたの所せううこうらふ程をこしとあ（左）ふ色ふ
たるひさにまぬれかぬの君なとさふらふんとに
（女二ハ内息下ノオイ大和守力妹落葉ニハイトコ）

（右上）
（右）
（右）
（右

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

おほしおとしたるまもなんしつ絶たつましまん
ちし侍ら世中をひきまおほしたらぬましもあら
志をとらあけまゆくをあられ語くいふへ絶
やまひしうおほし絶くらす世紙しまさらかさの
心やすれやうまおりくおの絶うすも絶さ備しう
けふさくひなきかのうさなりやとおほし侍くけ
ぬましゆへくおなもぬふて女二詞う気みつうのつ
みを思ひたるとてもいやううちさまし気紙ゆり
やうまおもひなきへままうしあらんといとほの
りふ言まふまひのふて
女二 我のこやう気をとしれなきしまくぬれうふ

うての名をくさすへきとの絶つともな気をかりむ
まほくけくしのひやうしうちまし行へ給もう
たりしいくいりしいひ侍る事うやおほさおく
まけふあしうきこそ侍しなとおしるこのへる
ほし気ゆて
女 おなくもまりぬまし気ぬときををせくらすし
神れ名やきうくおくひさふるりおほしなりね
うしとて月あのおくまいさまひやゆるもあさ
まりやおほしを心侍ようりくすしぬへとうなふ
日きらせ給てうしかりまなくひすれむさし
を帰らんしたりて心やをうそれしぬへ帰給る

三ノ仏ハ一度秋ニ逢ヒシ一ハソラコトニテハアレ氏サハ世上ニハイハシトセ

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用

ウチニヨリ
ニタヤコモリト
思ヒアフミ
ノあハヤ
イテ見ヨ
コトハホト
イカナヒ
ムサトシテ
ノミテシケル
リトモ

（ふ入声ニ会スノイトヤ）
松の聖ゝまのしをみ
むそひやをきつわさ
（先夜ノ会ニハムサトシテヌ叶ヘトモツミシエスキーニヤ）
りまとよりへのけさやひさや
（会意趣コモリ君ヲ）
よまやなくやのしるてみまや
（ウ）
ふとをもとそまつまる
（小ヤ）
こまよへもつれなくみ
をものひうへき娘のをしをもぬ
みやまこしるうのほせしそぶ

（ミヤコヨリ君ノ召ニヤ）
（ヨリスミ玉ヘルトキコエヤアラント）
ソヒシモ忘テ文ツ集セウヒ人ニモテハヤサレテ会ヒシ曲ナク恩ヒ

（ミヤスノ心シ女ニノ是合ハシ）
くれまてめる松のりのをの
なれてうきまりもぐ
ゝ松ちもそ
ゝ
ゝ
ゝ

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

ぬりくつまさがなつかうしたけしなとつれく
せ物ぬのこおりしけくけくあつしくしの女君
かれをこれ清中れけし気をいりなりすりあり来ん
あれとこうふこのよりしもこゆやりふし給め
つしがなど忘えがたくてゆふくれの空ぬなりあ
へこゆ給へうところふつりしてをれのへるうり
なれうこのはしは
あられともいふしつまうなくさめんあれや忘
し気なれやうなしきおりつりなきようむうけき
せうきぞなくてさあくまりく思ひらりての
給ふまきなのなきうようへやせおすいせとく

おとなしひは
いつきとりまさくなりめむ清り色なるを菓
のう色とみぬ世ぬおなかくふこそのなしけきせ
のいのへつまるとうく色さくのへること露のあられ
をそ市しを気てさくなりすなけ気けくおもひ系
ひおもうなくおりしまひて又ひ小さ色のへりはいるん
なとすくしてはせやうすとおけし志つめりきせ
さあてそ思ひとつましういさそこれなれ名の何
うそあれうりまもけくまんさくようぎてけぬ乃
おひうなふへ気ほとそもせおけしさらまりきは
小草のこむやりをあなうらまとあうりひせもし給

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

かね

夜ふかき春けの秋の山人を康れなくねはねと
うゝへ流らうらゝ○とおつとうしは思ひやりなる
こそ流りひなと我よろしうきくなしたまへつゝ此
せうそこともうゆゑ結局と今をうくあさまし夫
夏の世我すこしを思ひさ海をなりうゝるむ絶
ぬ此とみるひもやすし夏るへ夫とのこをくよりに
いふ世給いこしういふりひなれ此ひなりなりと
るけ夫流くり色り結みちをかしもうれなる室
をなりめて十三日の月の出を花やりまさしいく
ぬきにをくらの山をたとれましうおもひ給ふ一
条の宮へみちなりなるをとぐうらめぐれそひつじ

されのうゝ此くのきさうをいるきにはらくく
せなりしこめて人の面もみえひ月のこやり水の
なもて我あらえにをこまるしたるに大柏をあらに
てあらひなとし結ふしありくを思ひいてぬふ
久音 みし人の柏う宝をこそてぬ池水しひとつゝや宿と
とる秋の夜此月とひとつゝこちはく汲ましてて
を月我みけしむへうらにあくりれ結へうもさもみ
くるしうあらかさらし此くせうなとごこちもうく
みあへつゝ色をまめやりまむうくあくりきさら
ぬる此むなりりとうりさるかくまならひ
此夏の人をとゝすれそめてこれこめしうし

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用

致仕ノ息

に蔵人のかゐの君は所にけりひまてをりたまふ
致仕大臣方女三へ
契りあまやきこをしるよとぐめをそれて妄と思ふ
うらめしときく拾ひ拾ひしたるかたじやあるゝ
かゐりて拾ひしてさく入まいつ御ふ面おもてのこ
ものこまはらうぐ所しいでくんと拾ひすくふ
宮もましくまびしと拾ひしこれ君中まいとう
さらよくめ屋すれさ面まく此やうにこ
ていまし人を聞ひいでさらけし天なり面いつ
まこれしちしてうゐく志からぬまさも沸らん
拾るさすやうんなといつりぞうすめの所也し
いやましまくて我ハ所うまくまじ天とこの

宣ヒカカキナレハ隔ムメキタルトニ

紆へも所ぐさしとうてわりくし天やうり
をしげきたれ聞しあをべれまやいかしあまく
きこもさすれぞまつうちなれて古ミヤスホオワシニサバトニ
しう思ひかりむ所気なしと拾ひしなりうも所を
拾ひくい拾ひまし世思ひいぐのふ事後のみつ望
きふされぐつちしてうき天やうをのまひ
女三
なふゆへう世ふ数なりぬ方を聞とうしとも
聞ひかゐしとしきくとのこ拾ひしけるまくまう
きとしとぐ先拾ひぬ屋うまくとしけくこそいぐし
のふつかゐ人を拘絶してとれくさふらふまゐ
うるみをのさへきなれしちし給ひ拾ひ

行右に云ニハ紛活ハ也

のきこ三ゐきみ又ゐきみとうおりしあれすぐく
十二人のなかにうくほるなくいやしきにぞ
やつくにおひいぐぬ(ヒ)あら国侍がりの(脱)君たち
きもるじかくちおりしうじぞ勢りぜありてこれ
をぐきたりける三ゐきみ沈らう天みはひんぐ(若者)
ゐおとゞまぞとつきわ天そりし月をてきつる沈ふ沈も
みなれ多まふてゆやらうくし行は(多勢ノ人キヽノ事ナトノイハン)ならひ(ヤウモナキトシ)
れあやいひ屋るかくなくとそ(筆者ノ詞ナルヘシ)

国立国会図書館

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用